

皆さまから愛される広報誌であるために!



TITLE募集!!

※詳細は裏表紙をご覧ください。

[電気通信大学広報誌] 2013.4 創刊号

U-1

つなぐ【繋ぐ】

通じ合うことで変化するものがあるように
一人ひとりに立ちはだかる限界を
みんなで社会で、超えていくことをめざす。



UECビジョン2018

創立100周年に向けた挑戦!
「総合コミュニケーション科学」
.....U2

UECの研究

人類の明日を担う最新研究!
「脳科学は人と機械を繋ぐ」
.....U3

UECのヒーロー

学生発の一大プロジェクト!
「走る電波塔」
.....U3

UECエンタメ情報

価値ある情報が盛りだくさん!
「産学官連携イベントに行こう」
.....U4

UECの歴史

電通大の軌跡を紹介!
「タイタニックから全ては始まった」
.....U4



新しい力を育てる「コミュニケーション」

本学は2018年に創立100周年を迎えます。そのビジョンに総合コミュニケーション科学という概念を盛り込みました。それは、人や科学や自然が繋がることで、より良い社会をめざすということ。かつて私の研究者時代、マイクロコンピューターの登場で、あらゆる製品や研究が進化するのを見てきました。

今後も技術開発が進み、世の中は大きく変化するでしょう。そこで必要とされるものが、コミュニケーションという考えです。日本の技術は十分、世界に誇れるレベルにあります。コミュニケーションを通じて柔軟な発想力が育ち、人をワクワクさせる製品や研究者達が多く現れることを期待しています。

梶谷誠

電気通信大学長

未来をつくる 「繋がり」



UECビジョン2018

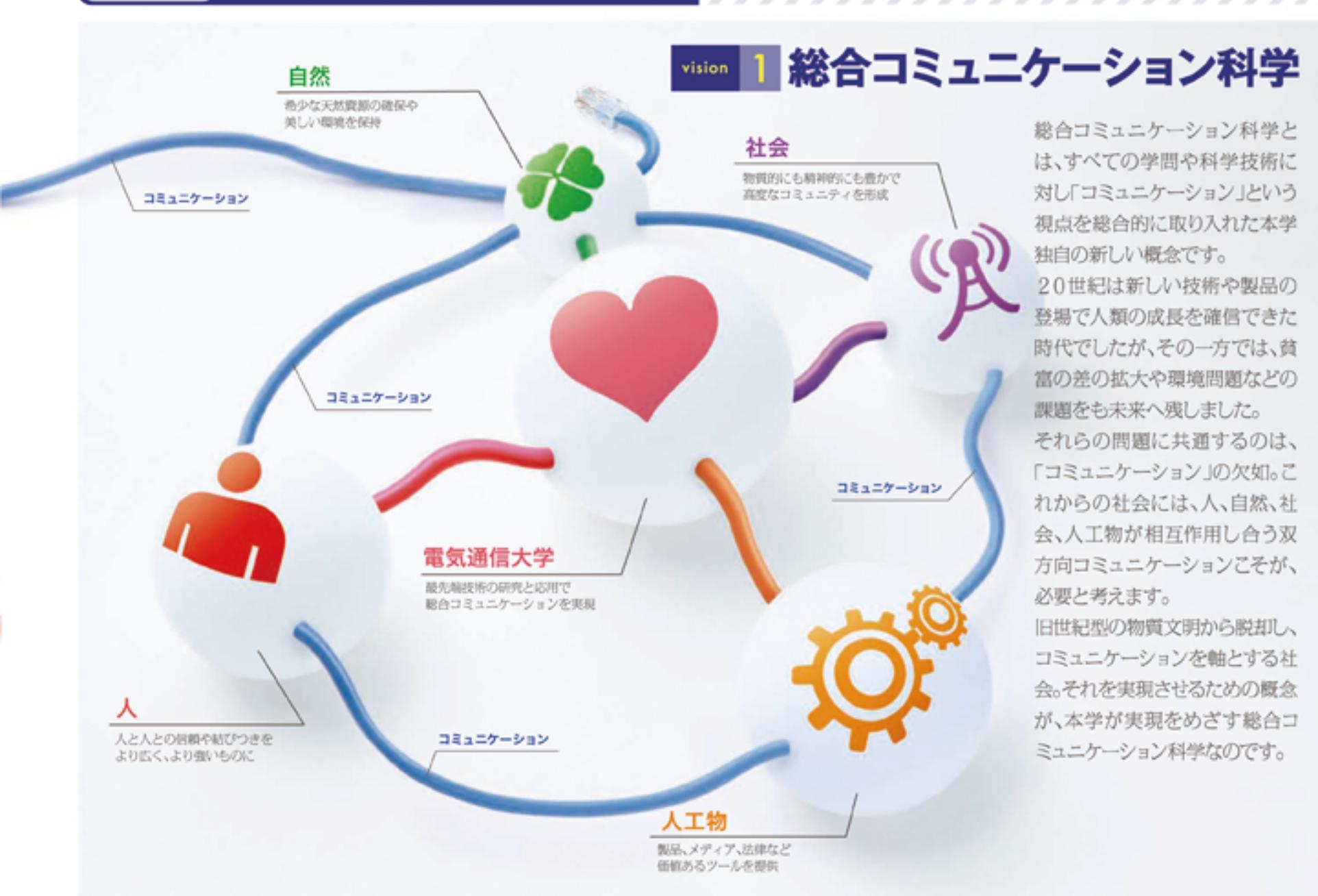
創立100周年に向けたビジョンを発表!

vision 1 総合コミュニケーション科学

総合コミュニケーション科学とは、すべての学問や科学技術に対し「コミュニケーション」という視点を総合的に取り入れた本学独自の新しい概念です。

20世紀は新しい技術や製品の登場で人類の成長を確信できた時代でしたが、その一方では、貧富の差の拡大や環境問題などの課題をも未来へ残しました。それらの問題に共通するのは、「コミュニケーション」の欠如。これから社会には、人、自然、社会、人工物が相互作用し合う双方向コミュニケーションこそが、必要と考えます。

旧世紀型の物質文明から脱却し、コミュニケーションを軸とする社会。それを実現させるための概念が、本学が実現をめざす総合コミュニケーション科学なのです。



vision 2

国際基準を満たす基礎学力の上に、国際性と倫理観を備え、実践力に富む人材を育てます。

vision 3

世界から学生や若手研究者が集い、伸び伸びと研究し、そこからユニークな発想が生まれる環境を整えます。

vision 4

国内外の大学や産業界および地域・市民などと多様な連携と協働により、教育研究の質を高め、社会に貢献します。

vision 5

経営の開放性と透明性を高め、学生や職員相互の信頼と士気が高く、社会に信頼される大学をめざします。



UECの研究

電気通信大学が誇る研究力や想いを大公開!

A	Q	A	Q
わかりやすい例でいうと、義手や義足というような人間の手足に変わるものの開発でしょうか。運動をするときに脳が発する指令と同じものを人工的に与えることで動かす研究ですね。実用化ができるとリハビリなど医療の現場で役に立ちます。	壮大なプロジェクトが始まるとあって周囲の期待も高まっています。例えば、私たちの身近なところではどういった変化が見込まれていますか。	全国から脳科学をはじめ、ロボット工学や人間工学に関するエキスパートを集めた最新の研究センターです。計測・解析・実用を軸とする事業を構想していく、脳科学による人類への福祉活動や社会貢献といった成果につながる事業を進めていきます。	このたび新しく設立された脳科学ライフサポート研究センターですが、いったいどのような取組みを行ふのかを簡単に教えてください。

脳科学は
人と機械を繋ぐ

特別インタビュー

脳科学の
未来にみえるもの

脳科学ライフサポート研究センター センター長

下条 誠 教授

電気通信大学卒業後、東京工業大学大学院へ進学。
富士通株式会社今西産業者研究所での監修、スタンフォード大学
客員研究員や茨城大学教授を経て電気通信大学教授に着任。
専門分野はセンシング(触覚の感知)や計測制御に関する
メカトロニクスなど。



研究自体は別世界でも、いかに日常生活に役立つ成果が出てくるわけですね。教授は他にもどのような部分で脳科学の魅力を感じたのですか。

未知の領域だから「どうしよ」ですね。これから的人類は、人工知能の開発に取組んで行くべきだと思っています。それが技術革新のきっかけや、核となって社会は飛躍的に発展するでしょう。将来性や本学の得意分野とマッチしているのも魅力でした。

センターの研究や活動を通して社会にとって大きな成果が生まれることだと思いますが「脳科学」の最終的な目標は何なのでしょう。

私は、脳科学の工学的応用展開を考えています。例えばロボットや人工知能で制御できる部分を置き換えることで、人為的なミスが現在よりも減るでしょう。事故の発生やエラーを未然に防ぐことが可能になり、安心・安全な社会になっていくはずです。また、医療情報や公的書類といった膨大なデータを正確に管理できるようにして社会や生活の基盤が万全になると信じています。

A

Q

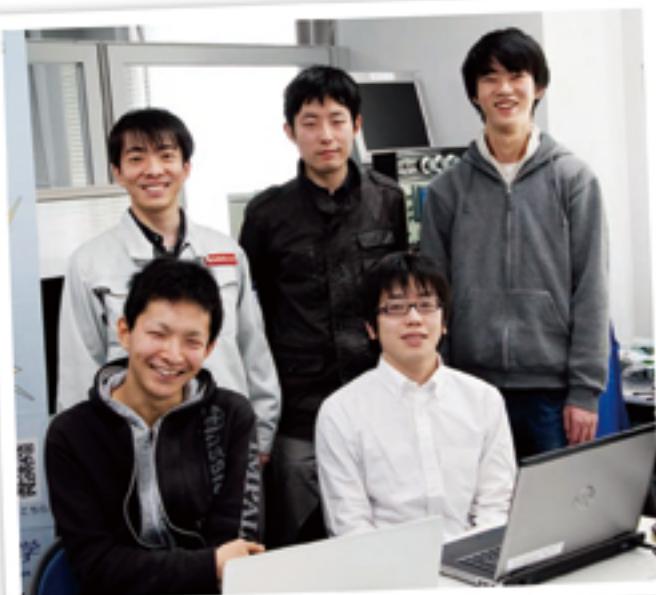
A

Q



UECのヒーロー

未来に向かって挑戦する学生に注目!



キャンパスまちセグプロジェクト

下段左から喜多根太郎(情報・通信工学科/3年生)、越川徹(情報・通信工学科/3年生)、上段左から革水延浩(研究指導)、西脇崇文(情報・通信工学科/3年生)、山中拓也(情報・通信工学科/3年生)

高性能でエコロジー
走る電波塔

実現への想い

携帯電話等でテレビ視聴ができるワンセグ。その基地局を移動式にして、震災など非常時にも稼働させるためのプロジェクトに注目が集まっている。現メンバーはわずか数名で、専用周波数帯の確保など技術的な難題も多く抱えている。しかしプロジェクトの注目度や重要性は高く、活動で得られる貴重な経験でメンバー全員が成長を実感しているという。

今後の活動

プロジェクトは授業という枠を超えて、大学内の正式な活動として将来に繋げられることが決定した。知名度の向上やメンバーの増員、地域活性をめざして走り続ける。





UECエコヨメ情報

学内最新ニュースや特別イベントをチェック!

産学官連携DAY in 電通大

開催日
6月5日

産学官連携の取組みを大公開。
共同研究成果報告会や、アイディア
コンテストなどを実施します。



研究設備センターが所有する
大型の測定装置なども特別公開
します。

産学官連携の
イベントに行こう

大学院オープンラボ

開催日
6月5日

本学の大学院への進学希望者に
研究力をアピール。大学にある
研究室をすべて公開します。



大学院の説明会や、研究内容を
詳しく紹介する公開プレゼン
テーションも実施されます。



UECの歴史

電気通信大学にまつわる歴史、功績、秘宝を紹介!

100年前の悲劇が生んだ大きな歩み

電気通信大学の起源は1912年に起きたタイタニック号の沈没事故と大きく関係があります。当時、世界最悪の海難事故といわれる悲劇を顧みて、その後、国際的に無線電信の設備が義務づけられることになりました。日本でも無線通信士の育成が国家的な課題となり創設されたのが電気通信大学の前身にあたる養成機関です。その後、官立化や文部省移管を経て電気通信

大学が誕生しました。100年という伝統は「知識や技術の蓄積」と「社会からの信赖」という意味で大きな価値を持っています。現在、より高度な社会を確立させるために「総合コミュニケーション科学」という概念を提唱し、その世界的研究教育拠点になることをめざしています。



最近はインターネットによる情報提供が主流ですが、紙の媒体にも味があると思いませんか? 気軽に取りやすく、多くの内容がすぐ手に入り、だれかと一緒に見てコミュニケーションできるのが魅力です。本誌は電通大の活動やイベントをタイムリーに紹介し、大学と社会の間に新たなコラボレーションができるることを期待して発刊したもので。皆さんより多くの繋がりをうむために、このUniqueでExcitingな広報誌にふさわしいタイトルを、ぜひご提案ください!

UEC
ミュージアム

開館時間

AM12:00~PM4:00

TEL

042-443-5296

※休館日については
お問い合わせください

無線通信機をはじめ、本学に関連する
機器や資料を展示。世界初のラジオ
など、歴史的・価値の高いものも
多数保管されています。

INFORMATION



国立大学法人
電気通信大学
広報センター

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
<http://www.uec.ac.jp/>

教育用機器・事務用品のことなら
お任せください!

研究室・共用室・教員室

用途に合わせて最適な空間を御提案

- *プレゼン・ミーティングをより快適に
- *資料整理に最適な収納システム
- *机と棚が一体化したデスクシステム
- *リーズナブルな製品のご紹介!

株式会社ケーエス

☎042-302-6630 fax042-302-6631
E-mail: kumagai@co-ks.jp

当広報誌タイトル募集

長く愛される電通大らしい広報誌であり続けるために、皆さまが名付け親になってください!

対象: どなたでも応募できます。

応募期限: 2013年4月30日(火)必着

応募方法: タイトル、住所、氏名(ふりがな)を併せて明記し、郵送または電子メールでお送りください。

賞品: 記念品

当選発表: 2013年7月頃、本誌面にて結果を掲載。

あて先: 電気通信大学 総務課 広報係
〒182-8585
東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
電話: 042-443-5019

郵送で応募される方

郵送の場合は、封筒の表に
左記のあて先を記入して、
さらに「新広報誌タイトル募集」と
朱書してください。

メールで応募される方

メールの場合は、タイトル欄に
「新広報誌タイトル募集」とご記入のうえ、
kouhou-k@office.uec.ac.jp
のアドレスまでお送りください。

たくさんのご応募お待ちしております。――